

令和4年度 寒川高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
○法令遵守意識の向上 ○公務外非行の防止 ○職員行動指針の周知・徹底	公務員としての倫理意識を高め、法令を遵守する。	(ア) Teamsに不祥事防止啓発資料をアップロードし、法令遵守等の意識を喚起するとともに、教育公務員としての倫理意識を高めた。 (イ) 公務外非行の事例を挙げ、他人事ではなく自分事としてとらえることにより、非行防止に努めた。 (ウ) 「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」を年度当初の校長面談で職員一人ひとりに確認し、周知、徹底に努めた。
○わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ・パワハラ行為のない職場をつくる。	(ア) 電子メールやSNS、LINEなどを利用した生徒との連絡は絶対に行わないよう、不祥事防止研修等で周知、徹底した。 (イ) わいせつ・セクハラ行為の防止のため相互に注意しあえる関係の構築に努めた。 (ウ) 教職員全員を対象に、わいせつ・セクハラ行為の防止について、不祥事防止研修を実施した。
○体罰、不適切な指導の防止	部活動や教科指導等での体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	(ア) 体罰によらない指導に努め、教職員の相互チェック体制を整えた。 (イ) 不祥事防止啓発資料を活用し、不適切な指導の未然防止に努めた。 (ウ) 教職員全員を対象に、外部講師を招いて職員人権研修会を実施し、人権意識の向上を図った。
○入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成及び送付にかかわる事故を絶対に起こさない。	(ア) マニュアルに基づいた行動の徹底を図り、情報共有や相互チェック体制を構築した。 (イ) 成績処理において発覚したミスについて、その原因を追究し、再発防止を図った。 (ウ) 調査書や提出資料等の点検を複数で行うとともに、管理職による点検を徹底した。
○個人情報等の管理 ○情報セキュリティ対策	個人情報の流失及び携帯電話、電子メールの不適切使用を未然に防止する。	(ア) 個人情報の持ち出しや登録について、届け出の徹底を図った。 (イ) 教務手帳など重要個人情報については鍵付きロッカーを利用した管理を徹底した。 (ウ) 不祥事防止職員啓発点検資料を活用し、電子データの取扱いや電子メールの適切な利用について周知した。
○交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故を未然に防止する。	(ア) 私生活においても、公務員としての自覚を持った行動を促した。 (イ) 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、飲酒運転の根絶に向けた点検を行った。
○業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制、業務の精選による多忙化の解消・集中力の維持）	業務執行体制を確保し、共有と協力を進め、事故を未然に防止する。	(ア) 業務上必要な情報共有を行い、お互いに漏れやミスがないか点検できる体制づくりを行った。 (イ) 緊急時や繁忙期には、グループや教科の枠を超えて協力できる体制を整え、全職員が協力し合いながら業務を遂行した。 (ウ) 職員どうしで、風通しの良い職場となるような声掛けを意識的に行った。
○会計事務等の適正執行	適切で公正な予算編成と執行に努める。	(ア) 半期ごとに私費会計簿の定期点検を実施した。 (イ) 会計担当者への説明を個別に行い、不祥事防止に努めた。 (ウ) 物品管理者を中心に備品の現物照合を8月に行った。

○職場ハラスメントの防止	パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとする職場内でのハラスメントの防止	(ア) 職員が一人で悩み抱え込むことがないよう、相互に気遣いのできる職場環境づくりを全職員が心がけた。 (イ) 管理職による個別面談を実施し、ハラスメントや不祥事防止の未然防止を図った。
○保護者への適正対応	保護者との連携を深め、トラブルを未然に防止する。	(ア) 保護者との連絡を密にして、生徒が抱える問題や課題について保護者と共有した上で、早期対応、早期解決を図った。
○政治的中立性の厳守	教育公務員として政治的中立性を自覚し、不適切な行動を未然に防止する。	(ア) 通知文や啓発資料に基づき、朝の打合せや職員会議で呼びかけ、不適切な行動の未然防止に向けて注意喚起を行った。
○職員の不祥事防止の意識の醸成	神奈川県教育委員会令和4年度不祥事防止取組方針に基づき、不祥事防止に関する意識の醸成を図り、不祥事ゼロを目指す。	(ア) 業務の遂行に当たって、職員への声掛けや年度当初の校長面談等で、不祥事防止に関する知識と意識の向上を図った。 (イ) 初任者や臨時的任用職員を対象にわいせつ事案の根絶に向けた不祥事防止研修を実施した。 (ウ) 非常勤講師を対象に、「不祥事防止について」「公務員に求められる姿」をテーマに資料による机上研修を実施した。 (エ) 全教職員を対象に「教員による子どもへの性加害について考える」をテーマに講義の視聴やグループ討議を実施し、性被害の影響についての理解を深めた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止研修に加え、朝の打合せやTeamsを活用しながら注意喚起をすることで不祥事ゼロを図ってきた。特に生徒に対する指導を行う際には丁寧で配慮の行き届いた指導体制ができており、体罰や不適切な指導ゼロを達成できた。また、日頃から風通しの良い職場づくりの意識が職員に浸透し、お互いが注意しあうことができる環境が確保され、複数回に及ぶ入学者選抜においても適切に業務が遂行された。

次年度も職員の入替わりが多い職場ではあるが、引き続き、些細なミスも起こさない体制を構築するとともに、個人情報等管理・情報セキュリティ対策も継続して取り組んでいきたい。職員相互の不祥事防止の意識をこれまで以上に高めるとともに、業務執行体制のチェックやマニュアルの見直し等に取り組んでいく。また、職員間の同僚性を一層向上させ、情報共有を行いながら不祥事ゼロに向けて取り組んでいく。